

# 第10回土岐川庄内川流域委員会

## 河川整備計画（環境）の整備メニュー（案）

### 資料編

#### 目次

庄内川における自然環境に配慮すべき箇所（案）の位置図	1
庄内川における景観に配慮すべき箇所（案）の位置図	2
庄内川環境整備メニュー（案）の位置図	3
<b>&lt; 自然再生 &gt;</b>	
万場地区環境整備	4
志段味地区環境整備	5
<b>&lt; 河川空間利用の促進 &gt;</b>	
河口部地区環境整備	6
前田地区環境整備	7
西枇杷島地区環境整備	8
西枇杷島小田井地区環境整備	9
小田井堀越地区環境整備	10
矢田川地区環境整備	11
豊岡地区(多治見)環境整備	12
土岐地区(定林寺川)環境整備	13
<b>&lt; 河川空間利用の促進 &gt;</b>	
小里川ダム環境整備	14
<b>&lt; 参考 &gt;</b>	
河川環境情報図	15～42

# 庄内川における自然環境に配慮すべき箇所（案）の位置図





# 庄内川環境整備メニュー（案）の位置図



<自然再生>

万場地区環境整備

河川区分	名称	位置	特徴的な事項	地区の現況特性			
				水質	自然環境	河川利用	地域ニーズ
下流部	横井大橋付近(万場)	右岸7.8k付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>広い高水敷に公園、グラウンドが整備</li> <li>湾曲部を利用した水辺と都市の景観を眺める視点場</li> </ul>	<類型指定> 環境基準D類型 <現況水質> ・BOD75%値5.0mg/l (琵琶島15~14年平均値) ・河床にはヘドロが堆積し、臭気を放つ	<特徴的な環境> ・ヨシ群落、オギ群落 <注目すべき生物> ・ヨシ、オギ、カヤネズミ	<河川利用> ・万場大橋緑地(グラウンド、公園) ・釣り <河川利用拠点> ・万場大橋緑地・水面利用発着場(右岸5.8k) <アクセス> ・高水敷利用地へ降りる坂路が整備 ・堤防道路 <河川空間管理計画> 左岸:自然利用ゾーン 右岸:自然利用ゾーン <沿川施設> ・万場川東公園	<河川環境に関するニーズ> ・水辺の散策(1) ・河川愛護の活動の場(1) ・自然環境の保全(1) ・河川敷へのアクセス改善(バリアフリー、橋の扶からのアクセス、堤防道路の歩行が危険など)(8) ・景観対策(2) <その他のニーズ> ・堤防の安全性や河積確保(5) ・堤防道路の改善(車の通行に危険)(3)

<整備の概要>

庄内川下流部では、河川改修等によりヨシ群落等の湿地が減少しており、湾曲部で広い高水敷を有する万場地区において、ヨシ原等の湿地の再生を図る。

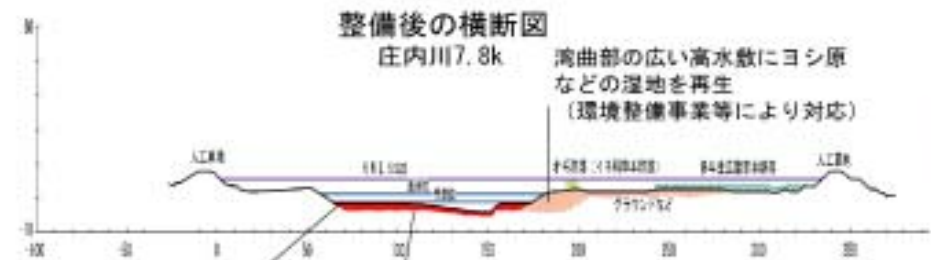
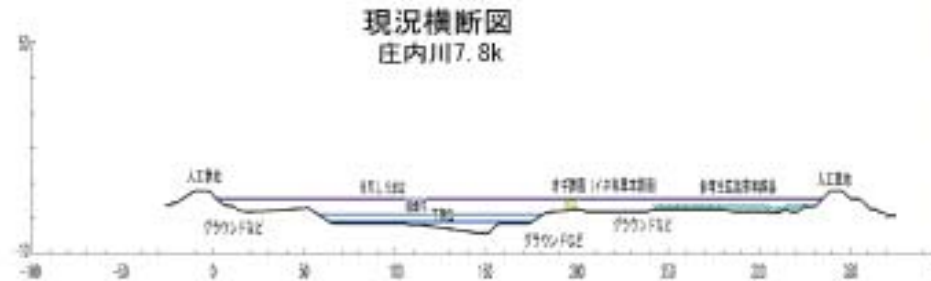
<整備内容>

湿地の再生(ヨシ原等)

万場地区環境整備イメージ



撮影：平成16年3月13日



多孔質な材料による河岸の防護  
河床は現況河床形状を考慮して整備



①水際の矢板護岸の様子



②水際のヨシ原の様子



③高水敷の植生の様子



<自然再生>

志段味地区環境整備

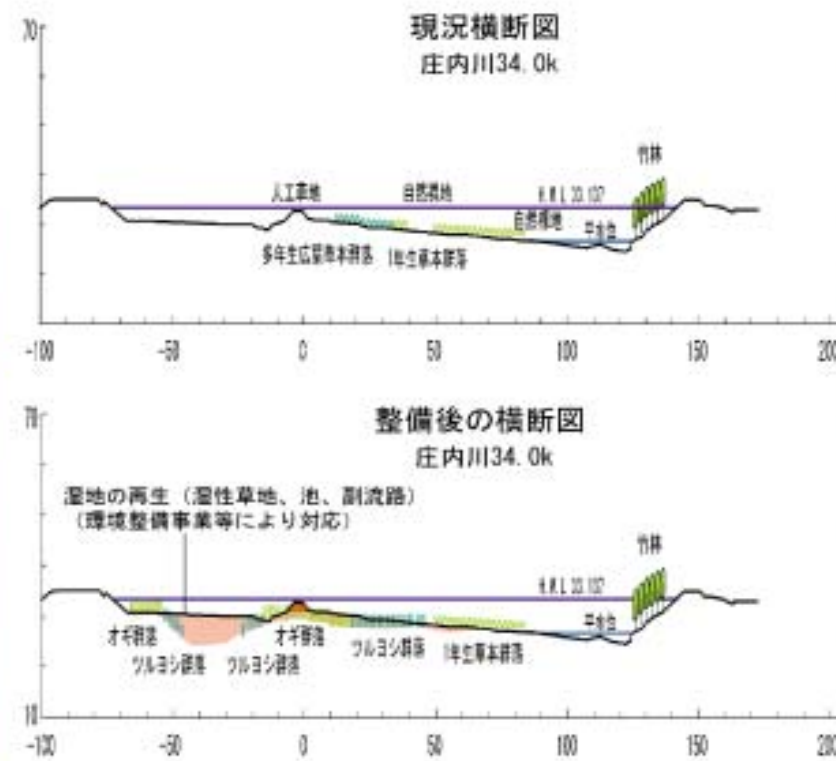
河川区分	名称	位置	特徴的な事項	地区の現況特性			
				水質	自然環境	河川利用	地域ニーズ
中流部	野添川合流部	左岸34km付近	瀬淵、砂礫地が広く分布 野添川合流部の外来植物 既設ビオトープ 引堤区間の竹林	<類型指定> ・環境基準D類型 <現況水質> ・BOD75%値1.6mg/l (大留橋HS～14年平均値)	<特徴的な環境> ・瀬淵、砂礫地、溼生草地 <注目すべき生物> ・アユ、イチモンジタナゴ ・フルヨシ、オギ	<河川利用> ・ビオトープ <河川利用拠点> ・志段味ビオトープ <アクセス> ・堤防、大留橋(人道橋) <河川空間管理計画> 左岸：自然利用ゾーン 右岸：自然ゾーン	<河川環境に関するニーズ> ・魚や鳥などの生物が、より棲みやすい環境に改善(5) ・泳いだり、魚採りなどの川遊び(2) ・水辺の散策(5) ・河川敷のレクリエーションなど ・人工的でなく、自然を活かした水辺(2) ・水質の改善(2) <その他のニーズ> ・堤防の安全性や河積確保、内水対策等(4) ・近傍には湧水を水源とした才井戸流れと呼ばれる小川が流れており、その保全が求められている。

<整備の概要>

志段味地区では、大規模土地区間整理事業が進行中であり、沿川の才井戸流れなどの湧水や湿地が減少し、地域から環境保全が求められている。このため、引堤区間に流路や湿地を整備し、沿川地域が有していた環境を再生する。

<整備内容>

湿地の再生(溼性草地、池、副流路)



志段味地区環境整備イメージ



① 野添川合流部付近の様子



② 野添川合流部付近の小堤の様子



③ 志段味ビオトープの状況



④ 志段味ビオトープの市民活動



⑤ 野添川の様子

<河川空間利用の促進>

河口部地区環境整備

河川区分	名称	位置	特徴的な事項	地区の現況特性			
				水質	自然環境	河川利用	地域ニーズ
河口部	河口～一色大橋付近	-1.0～4.6k	<ul style="list-style-type: none"> <li>河口干潟と塩性湿地のヨシ原</li> <li>河口部の雄大な景観（景観ゾーン）</li> <li>稲水野鳥観察館</li> <li>水防拠点（明徳橋上流右岸）</li> <li>青洲堤（庄内川、新川）</li> <li>交通量の多い堤防道路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;類型指定&gt;</li> <li>環境基準D類型</li> <li>&lt;現況水質&gt;</li> <li>BOD75値5.0mg/l（枇杷島15～14年平均値）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;特徴的な環境&gt;</li> <li>河口干潟と塩性湿地のヨシ原（-2k～3.4k）</li> <li>クロマツの並木（左岸4.5～4.9k）</li> <li>&lt;注目すべき生物&gt;</li> <li>シギ、チドリ類、コアジサシ、カヤネズミ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;河川利用&gt;</li> <li>河口干潟、ヨシ原の雄大な景観</li> <li>&lt;河川利用拠点&gt;</li> <li>水防拠点（下之一色：右岸3.4k）</li> <li>&lt;アクセス&gt;</li> <li>堤防道路の交通量が多く、歩行や横断が危険（左岸明徳橋～一色大橋）</li> <li>&lt;河川空間管理計画&gt;</li> <li>左岸：自然ゾーン</li> <li>右岸：自然ゾーン</li> <li>&lt;沿川施設&gt;</li> <li>名古屋市野鳥観察館（稲水公園内左岸-1.0k）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;河川環境に関するニーズ&gt;</li> <li>魚類の生息環境、ヨシ原の保全(2)</li> <li>美しい景観とのふれあい(1)</li> <li>環境学習、自然観察(3)</li> <li>河川敷へのアクセス改善(1)</li> <li>クロマツ並木の保全(14)</li> <li>&lt;その他のニーズ&gt;</li> <li>堤防道路の改善（車の通行に危険）(8)</li> <li>堤防道路の歩行が危険(1)</li> <li>堤防の安全性や河川確保(13)</li> </ul>

<整備の概要>

ラムサール条約湿地に登録されている河口干潟とその上流の広大なヨシ原は、鳥類などの多くの生物の生息、生育場となっており、生物や雄大な河川景観とふれあえる場が求められている。この区間は、自然ゾーンに設定されており、良好な自然環境や景観の保全に十分に配慮し、周遊する遊歩道等や階段、坂路等のアクセス施設を整備する。

<整備内容>

遊歩道、階段、坂路



⑤塩性湿地のヨシ原の様子



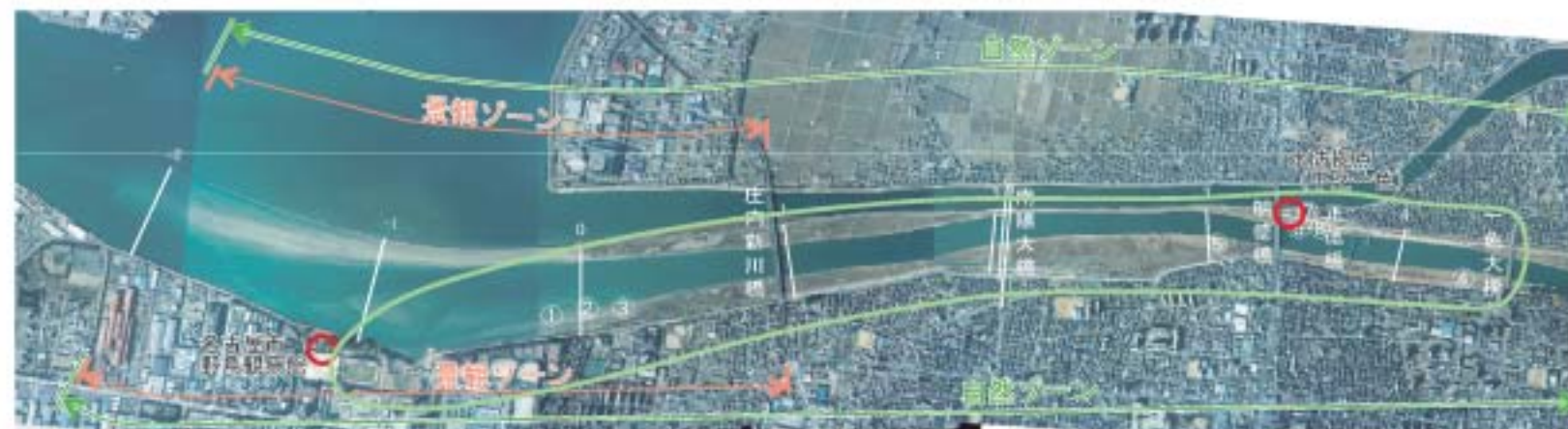
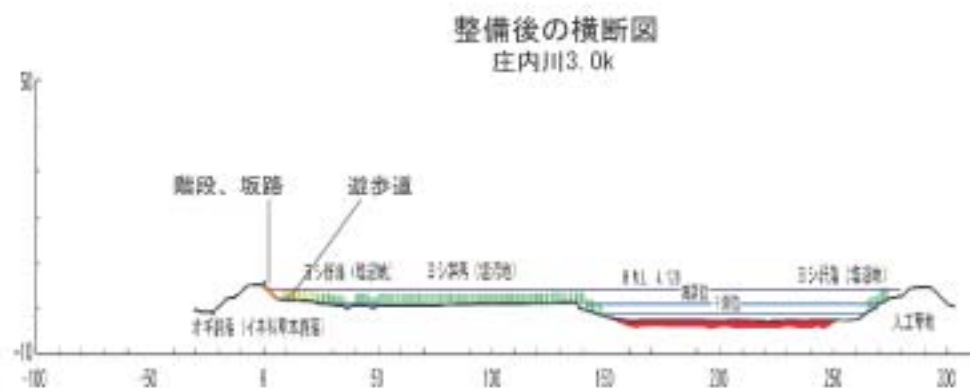
⑥水防拠点前面の階段護岸の様子



⑦水防拠点の水防倉庫の様子



⑧川沿いの散策路の様子



河口部地区環境整備イメージ



①塩性湿地のヨシ原の様子



②河口干潟の様子



③塩性湿地のヨシ原の様子



④クロマツ並木の様子



<河川空間利用の促進>

前田地区環境整備

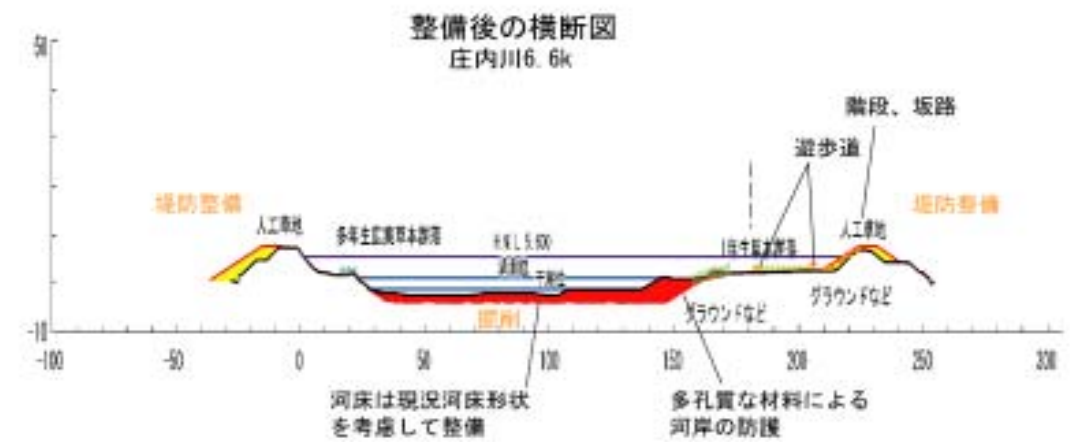
河川区分	名称	位置	特徴的な事項	地区の現況特性			
				水質	自然環境	河川利用	地域ニーズ
下流部	新前田橋付近	右岸6.6k付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>下流側に水面利用の発着場</li> <li>ビオトープ跡地</li> </ul>	<類型指定> ・環境基準D類型 <現況水質> ・BOD7濃度 5.0mg/l (枇杷島H5~14年平均値) ・河床にはヘドロが堆積し、臭気を放つ	<特徴的な環境> ・ヨシ群落 <注目すべき生物> ・ヨシ、カヤネズミ	<河川利用> ・水面利用 (レガッタ) ・水辺の散歩、釣りなど <河川利用拠点> ・水面利用の発着場 (右岸5.8k) <アクセス> ・水面利用の発着場に坂路、広場が整備 <河川空間管理計画> 左岸: 自然ゾーン 右岸: 整備ゾーン	<河川環境に関するニーズ> ・水面利用の充実 (5) ・既存施設や活動を活用した、防災や親水利用の拡大 (4) ・水辺の散歩 (1) ・河川愛護の活動の場 (1) ・ビオトープの保全、自然環境の保全 (3) ・景観対策 (2) <その他のニーズ> ・堤防の安全性や河積確保 (4)

<整備の概要>

グラウンド等が整備されているが、水辺の散策や親水活動の場の整備が求められている。このため、水辺の遊歩道や階段、坂路等のアクセス施設を整備して親水機能を改善し、河川空間の利用促進を図る。

<整備内容>

遊歩道、階段、坂路



前田地区環境整備イメージ



①高水敷の遊歩道



②高水敷の親水活動 (花壇)



③水際のヨシ原の様子



＜河川空間利用の促進＞

西枇杷島地区環境整備

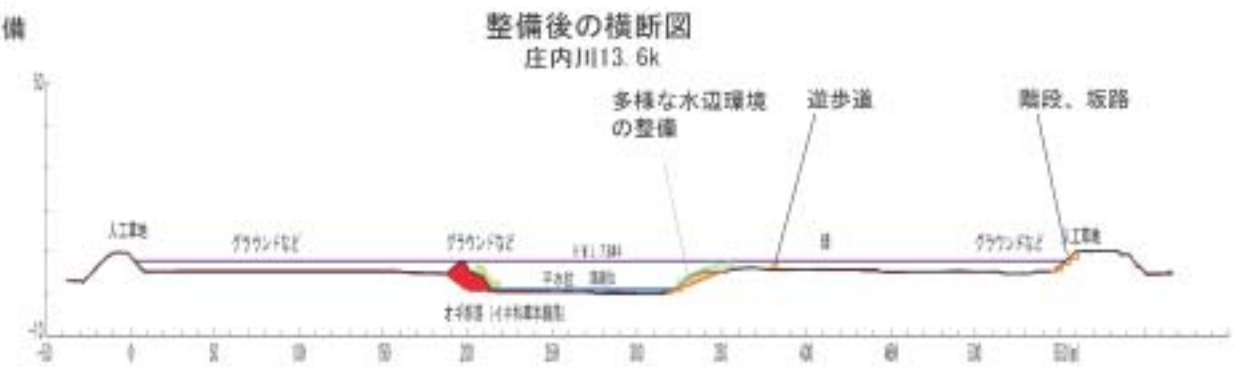
河川区分	名称	位置	特徴的な事項	地区の現況特性			
				水質	自然環境	河川利用	地域ニーズ
下流部	新大正橋～ 枇杷島橋下流	右岸10.0～ 14.0k付近	・広い高水敷に水防拠点 ・リバーランド	＜類型指定＞ ・環境基準D類型  ＜現況水質＞ ・BOD75%値5.0mg/l (枇杷島05～14年平均値)	＜特徴的な環境＞ ・オギ群落、河道内樹木 ＜注目すべき生物＞ ・オギ、ヤナギ類、エノキ	＜河川利用＞ ・庄内西枇杷島緑地 ・市民農園 ＜河川利用拠点＞ ・水防拠点(13.8k) ＜アクセス＞ ・高水敷利用地へ降りる坂路が整備 ＜河川空間管理計画＞ 左岸：整備ゾーン 右岸：整備ゾーン	＜河川環境に関するニーズ＞ ・にしび町家地区まちづくり構想 (水防拠点と連携した水辺整備、親水エリア、自然再生エリア、環境教育の場など) ・生物が暮らしやすい環境に改善 ・親水利用、水辺へのアクセスの改善(8) ・河川敷のレクリエーション活動など(16) ＜その他のニーズ＞ ・堤防道路の堤内地へ付替え ・堤防の安全性や河積確保(2) ・工事中の動植物に与える影響を考慮(2)

＜整備の概要＞

西枇杷島緑地や農耕地として利用されているが、地域から水防拠点和連携した親水空間の整備が求められている。このため、水防拠点和連携した環境学習、自然観察の場として、多様な水辺環境や遊歩道、坂路、階段等のアクセス施設を整備する。

＜整備内容＞

遊歩道、階段、坂路  
多様な水辺環境の整備



西枇杷島地区環境整備イメージ



①高水敷の植生の様子



②水防拠点周辺の様子



③水際の植生の様子

<河川空間利用の促進>

西枇杷島小田井地区環境整備

河川区分	名称	位置	特徴的な事項	地区の現況特性			
				水質	自然環境	河川利用	地域ニーズ
下流部	枇杷島 ～庄内緑地	右岸14k ～16k 付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>水防拠点(13.8k)</li> <li>庄内緑地 (17%)</li> <li>緊急河川敷道路(左岸)</li> <li>狭窄部であるため堤防から水辺までが近い</li> </ul>	<類型指定> ・環境基準D類型 <現況水質> ・BOD75%値5.0mg/l (枇杷島H5～14年平均値)	<特徴的な環境> ・河道内樹木 <注目すべき生物> ・オギ、ヤナギ類、エノキ	<河川利用> ・水辺の散策 <河川利用拠点> ・水防拠点(13.8k) ・庄内緑地 (17.0%) <アクセス> ・高水敷へ降りる坂路、階段が整備 <河川空間管理計画> 左岸：整備ゾーン、自然利用ゾーン 右岸：整備ゾーン、自然利用ゾーン	<河川環境に関するニーズ> ・地域や歴史に配慮した川づくり(13) ・生物が棲みやすい環境に改善(6) ・地域固有の美しい風景の保全(5) ・水辺いで安全に憩い散策(12) ・河川敷のレクリエーション利用(8) ・環境学習や自然観察の場 ・水質の改善 (6) ・景観対策(2) <その他のニーズ> ・堤防道路の周辺環境への影響への対応(3) ・堤防道路の歩行が危険(4) ・堤防道路の渋滞の解消 ・堤防の安全性や河積確保(38) ・水害時の避難の仕方 ・流域の保水力を高める

<整備の概要>

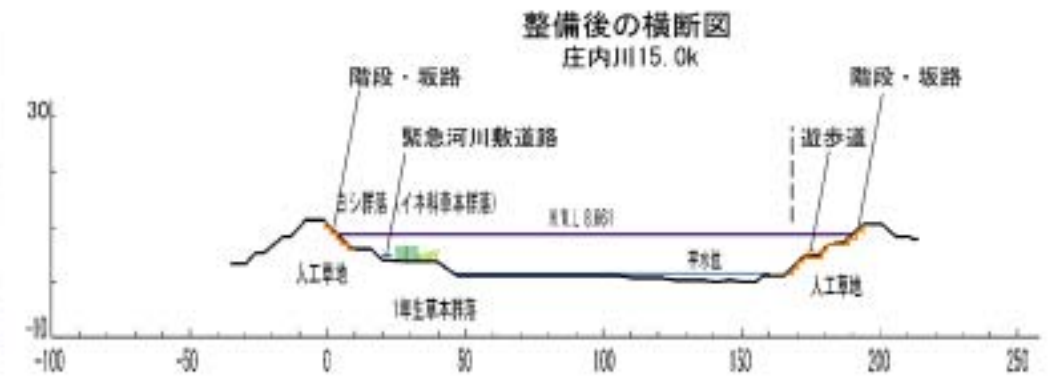
西枇杷島～小田井区間には、西枇杷島地区、小田井堀越地区や庄内緑地などの利用拠点が有り、また、左岸側には緊急河川敷道路が整備されている。これらの拠点の利用を促進するため、遊歩道や坂路、階段等のアクセス施設を整備し、水辺のネットワーク化を図る。

<整備内容>

遊歩道、階段、坂路



④水際の部の低水護岸の様子



西枇杷島地区環境整備



西枇杷島小田井地区環境整備整備イメージ



①緊急河川敷道路の様子



②水際の部の低水護岸の様子



③水際の部の低水護岸の様子

<河川空間利用の促進>

小田井堀越地区環境整備

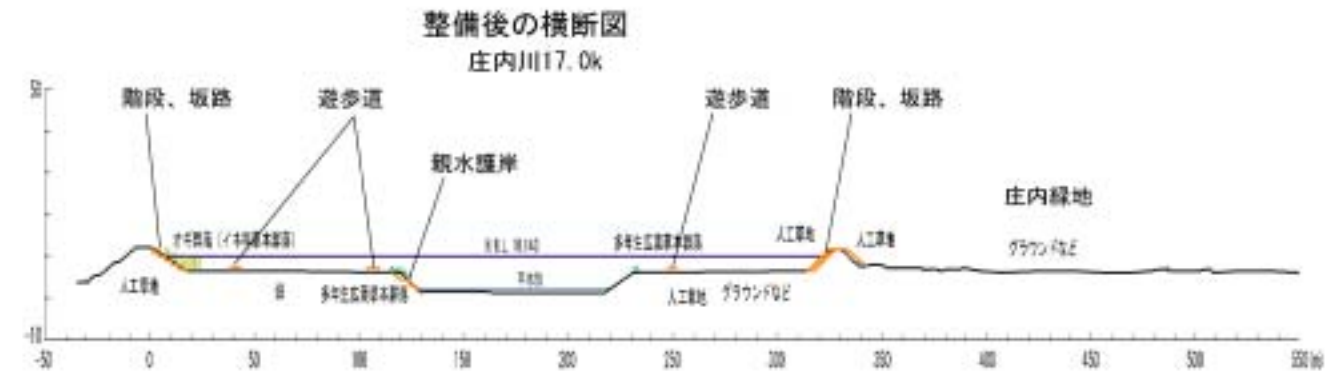
河川区分	名称	位置	特徴的な事項	地区の現況特性			
				水質	自然環境	河川利用	地域ニーズ
下流部	新庄内川橋付近	17k付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高水敷削削箇所</li> <li>・点在するムクノキ、エノキ</li> <li>・小田井床止め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;類型指定&gt;</li> <li>・環境基準D類型</li> <li>&lt;現況水質&gt;</li> <li>・BOD75%値5.0mg/l (枇杷島05～14年平均値)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;特徴的な環境&gt;</li> <li>・河道内樹木</li> <li>&lt;注目すべき生物&gt;</li> <li>・ムクノキ、エノキ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;河川利用&gt;</li> <li>・庄内公園</li> <li>・農地</li> <li>&lt;河川利用拠点&gt;</li> <li>・庄内緑地 (右岸)</li> <li>&lt;アクセス&gt;</li> <li>・堤防道路から高水敷に降りられる坂路が整備されているが、堤防道路の交通量が多く歩行は危険</li> <li>&lt;河川空間管理計画&gt;</li> <li>左岸：整備ゾーン</li> <li>右岸：整備ゾーン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;河川環境に関するニーズ&gt;</li> <li>・生物が棲みやすい環境に改善</li> <li>・水辺の散歩路、自転車道、無料駐車場の整備(9)</li> <li>・ボートやカヌー遊び</li> <li>・環境学習や自然観察の場</li> <li>・水質の改善(3)</li> <li>&lt;その他のニーズ&gt;</li> <li>・堤防道路の歩行が危険(2)</li> <li>・堤防道路の渋滞の解消(1)</li> <li>・堤防の安全性や河積確保(3)</li> </ul>

<整備の概要>

農耕地として利用されていたが、河川改修により高水敷の掘削（壁下げ）を行った区間である。この地区は庄内緑地や庄内公園に隣接し、水辺の散歩や親水活動の場の整備が求められている。このため、親水護岸、遊歩道、階段、坂路等のアクセス施設を整備する。

<整備内容>

親水護岸、遊歩道、階段、坂路



①高水敷壁下げの様子



②水際の治水護岸の様子



④小田井床止めの様子



③庄内緑地前面の高水敷の様子



小田井堀越地区環境整備イメージ

<河川空間利用の促進>

矢田川地区環境整備

河川区分	名称	位置	特徴的な事項	地区の現況特性			地域ニーズ
				水質	自然環境	河川利用	地域ニーズ
矢田川	ふれあい橋	矢田川 2.4k付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>高水敷は広く公園が整備</li> <li>低水時は水深が浅く、直線的でコンクリート護岸で整備</li> <li>水質は改善しつつあるが、汚濁が認められる</li> <li>大名古屋花火の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;類型指定&gt;</li> <li>環境基準D類型</li> <li>&lt;現況水質&gt;</li> <li>BOD75%値6.1mg/l (天神橋H5~14年平均値)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和30年代は蛇行の大きな河道であったが、現在は低水護岸が整備された単調な河道である。</li> <li>土砂が堆積する一部の水際には雑草が繁茂している。</li> <li>&lt;注目すべき種&gt;</li> <li>ヤリタナゴ、メダカ、カワデシヤ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;河川利用&gt;</li> <li>天神橋緑地</li> <li>天神橋サイクリングロード</li> <li>&lt;河川利用拠点&gt;</li> <li>天神橋緑地</li> <li>&lt;アクセス&gt;</li> <li>左岸堤防道路は交通量が多く、</li> <li>右岸堤防道路は交通量は少ないが不法投棄車両が放置。</li> <li>&lt;河川空間管理計画&gt;</li> <li>左岸：自然利用ゾーン</li> <li>右岸：整備ゾーン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;河川環境に関するニーズ&gt;</li> <li>水辺の散策、親水活動等(9)</li> <li>水質の保全、改善(7)</li> <li>自然環境の保全、再生(3)</li> <li>環境学習、自然観察</li> <li>高水敷の適正な利用(2)</li> <li>&lt;その他のニーズ&gt;</li> <li>堤防道路の改善(車の通行に危険)</li> <li>堤防道路の歩行が危険</li> <li>堤防の安全性や河積確保(4)</li> </ul>

<整備の概要>

矢田川はスポーツ、レクリエーション、散策等の高水敷の利用が盛んであるが、近年では、水辺の散策や親水活動の場の整備が求められている。遊歩道や親水護岸等を整備して親水機能を改善し、河川空間の利用促進を図る。

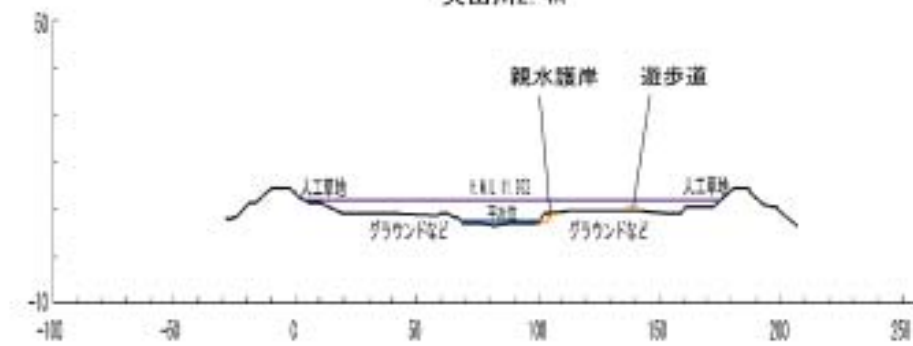
<整備内容>

親水護岸、遊歩道



整備後の横断面図

矢田川2.4k



<整備イメージ>



①ふれあい橋の右岸下流側の樹木群の様子



②ふれあい橋の右岸下流側の樹木群の様子



③水辺利用の様子

<河川空間利用の促進>

豊岡地区(多治見)環境整備

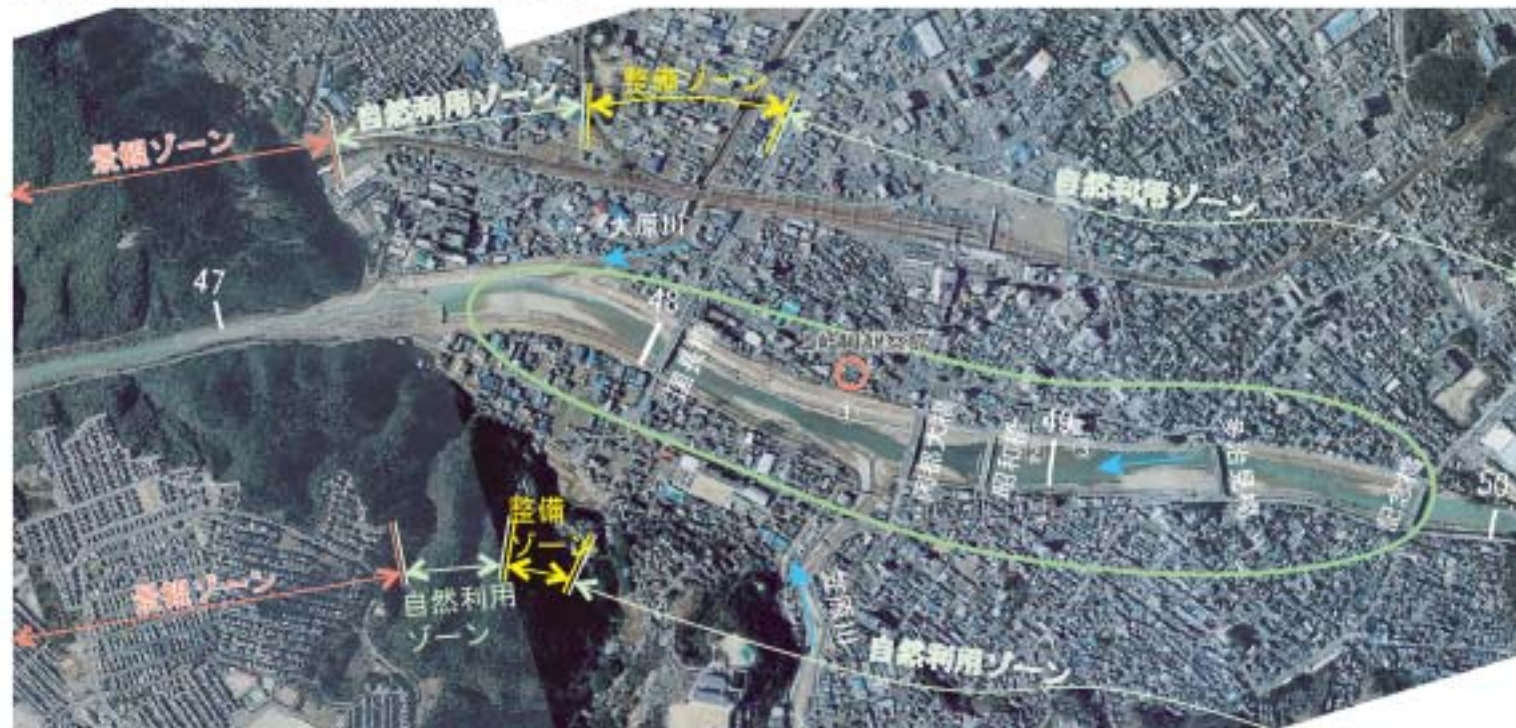
河川区分	名称	位置	特徴的な事項	地区の現況特性			
				水質	自然環境	河川利用	地域ニーズ
上流部	国長橋～ 記念橋	47.8k～49.7k 付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>多治見市街地、</li> <li>水辺の栗校、遊歩道</li> <li>急勾配の護岸</li> <li>堤防道路</li> </ul>	<類型指定> ・環境基準B類型 <現況水質> ・BOD75%値1.9mg/l (天ヶ橋05～14年平均値)	<特徴的な環境> ・書り州、湿生草地 <注目すべき生物> ・アカザ、カワヨシノボリ	<河川利用> ・環境学習、自然観察 ・水辺の散策 <河川利用拠点> ・土城川水辺の栗校 <アクセス> ・堤防道路からのアクセス <河川空間管理計画> 左岸：自然利用ゾーン 右岸：自然利用ゾーン <沿川施設> ・土城川観察館	<河川環境に関するニーズ> ・魚や鳥などの生物にとって棲みやすい環境に改善(12) ・川沿いの景観保全(17) ・水辺の散策(22) ・河川敷へのアクセスの改善(4) ・水質保全、改善(8) ・泳いだり、魚採りなどの川遊び(11) ・環境学習、自然観察 ・河川敷でのレクリエーション活動(10) ・人工的でなく、自然を活かした水辺(3) ・河川敷などのゴミ対策(4) <その他のニーズ> ・堤防道路の改善(車の走行に危険) ・堤防道路の徒歩、自転車の利用が危険 ・堤防の安全性や河積確保、内水対策等(20)

<整備の概要>

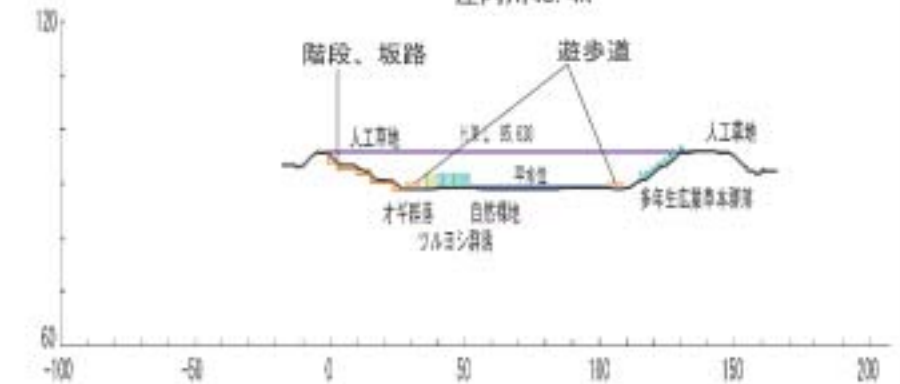
多治見市街地の中心部を流れる区間であり、遊歩道や自然観察の場が整備されているが、護岸が急で水辺に近づきにくい区間がある。このため、水辺の遊歩道や階段、坂路などのアクセス施設を整備し、水辺のネットワーク化を図る。

<整備内容>

遊歩道、階段、坂路



整備後の横断面  
庄内川48.4k



豊岡地区(多治見)環境整備イメージ



①土城川水辺の栗校で遊ぶ子供達の様子



③昭和橋上流の右岸堤防道路の様子



②昭和橋上流の右岸水際の様子

<河川空間利用の促進>

土岐地区(定林寺川)環境整備

河川区分	名称	位置	特徴的な事項	地区の現況特性			
				水質	自然環境	河川利用	地域ニーズ
上流部	定林寺川合流部	右岸58.8k付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>定林寺川合流部の渚地環境</li> <li>橋詰広場</li> <li>河床掘削計画区間</li> </ul>	<類型指定> ・環境基準B類型 <現況水質> ・BOD75%値1.7mg/l (三共橋H5～14年平均値)	<特徴的な環境> ・藪、湿生草地、竹林 <注目すべき生物> ・ツルヨシ、オギ、アカザ、カワヨシノボリ	<河川利用> ・新土岐川橋からの眺望 <河川利用拠点> ・新土岐川橋の橋詰め広場 <アクセス> ・なし <河川空間管理計画> 左岸：自然利用ゾーン 右岸：自然利用ゾーン	<河川環境に関するニーズ> ・泳いだり、魚採りなどの川遊び(9) ・水辺へのアクセス改善 ・河川敷のゴミ対策(5) ・魚類が棲みやすい環境に改善(3) ・水質保全、改善(4) ・自然計画の保全(3) <その他のニーズ> ・河積確保(6)

<整備の概要>

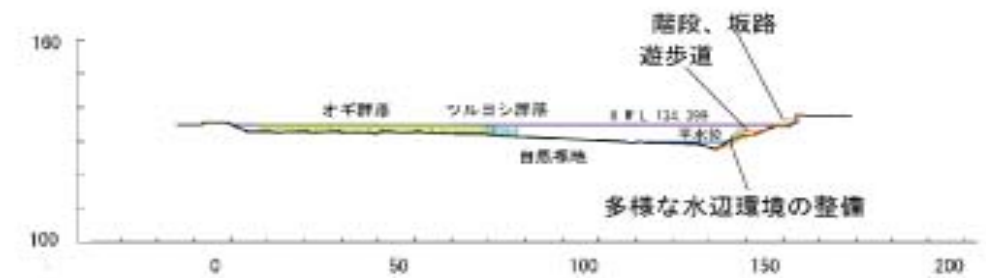
定林寺川合流部は、洪水時に遊水し、カワセミなどが生息する上流部の特徴的な自然環境を有する区間であり、水遊びや魚取りなどの自然とふれあえる場が求められている。このため、環境学習、自然観察の場として、多様な水辺環境や遊歩道、板路、階段等のアクセス施設を整備する。

<整備内容>

遊歩道、階段、板路  
多様な水辺環境の整備



整備後の横断面図  
庄内川58.8k



土岐地区(定林寺川)環境整備イメージ



①新土岐川橋から上流の定林寺合流点を望む



②定林寺川合流部の様子



③新土岐川橋右岸橋詰広場の様子



<河川空間利用の促進>

小里川ダム環境整備

<整備の概要>

小里川ダムは「地域に開かれたダム」の指定を受け、自然を活用したレクリエーション活動の場となるように、ダム周辺の整備を進める。



小里川ダム



ふれあい館・ダム右岸部地区

ダムを中心とした広域交流エリアをテーマにしている。

主な施設

- ・ダム堤体(展望テラス・エレベーター)
- ・ふれあい館
- ・道の駅 あばあちゃん市

原石山地区

石にまつわる歴史・文化の伝承と自然観察のエリアをテーマにしている。

- 主な施設
- ・遊歩道



ダム左岸部地区

展望と生き物とのふれあいをテーマにしている。

主な施設

- ・芝生広場
- ・展望公園



モダンパーク地区

地域の花と水のレクリエーションエリアをテーマにしている。

- 主な施設
- ・せせらぎ水路
  - ・浄化施設

